

学年	中学2年	教科	国語	科目	国語	単位数	5
教科書名	国語 2(光村図書)		副教材名	常用漢字の級別学習コンプリート新装版(京都書房) 国語活用資料集(新学社) 漢文名文選故事成語編(筑摩書房) 新中学問題集国語2年発展(教育開発出版) 解いて覚える中学生の文法(東京法令出版)			
コース・クラス	中高一貫						

I. 目標

目的や場面に応じ、社会生活に関わることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。

II. 授業のねらい

- 1 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意し、登場人物の人物像などに着目しながら作品を味わう。
- 2 自分の意見を述べる際に根拠をもって説明する力、論理的な構成や展開を考える力、思考するための材料を多方面から収集・整理して表現する力を身に付ける。
- 3 作品を読み味わう中で、古語・古典文法・漢文特有の表現やリズム・作品の時代背景等への関心を深める。また、現代との共通点・相違点について他者と意見を交換し、より深く古典の世界を味わう。
- 4 口語文法の知識を確かなものとし、読解力と記述力を高める。

III. 授業の進め方

- 1 講義形式だけでなく、必要に応じてペアワークやグループ学習も行う。
- 2 単元の内容理解を主とし、文章の構成や表現方法を学習していく。その中で初見問題など演習の時間も多く取り入れる。
- 3 確認テストを適宜実施し、内容理解を深める手立てとする。また、漢字テストを毎週実施し、語彙力の定着を図る。

IV. 学習上の留意点

- 1 配布したプリントはノートに貼るかファイリングし、整理・保管しておく。
- 2 積極的に授業に参加するとともに、必要な情報や自分の考えをノートにまとめる。
- 3 確認テスト・小テストの計画表を確認し、必ず事前に対策を行う。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 『木』、『月夜の浜辺』、『短歌に親しむ』、『言葉の力』、『字のない葉書』、文法、初見問題、百人一首
- 1 学期 期末試験 : 『アイスプラネット』、『クマゼミ増加の原因を探る』、『枕草子』、文法、初見問題、百人一首
- 2 学期 中間試験 : 『盆土産』、『モアイは語る』、『徒然草』、文法、初見問題、百人一首
- 2 学期 期末試験 : 『君は「最後の晩餐」を知っているか』、『漢詩の風景』、文法、初見問題、百人一首
- 3 学期 学年末 : 『走れメロス』、『平家物語』、漢文、文法、初見問題、百人一首

VI. 評価の方法

- 1 定期試験…授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物…課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	『木』『月夜の浜辺』 『短歌に親しむ』	・定期試験 ・小テスト ・提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・詩／短歌および随筆を読み比べ、筆者／作者それぞれに特有の観点や表現の効果について考え、語感を磨く。 ・短歌の形式や特徴を理解し、心情や情景描写に注意して読み味わう。 ・随筆 2 作品を読み、知識や経験と結び付いた考え方を知る。 ・用言の活用、活用の種類について理解する。
	5	『字のない葉書』 『言葉の力』 用言の活用 百人一首 オールマイティアクティブ		
	6	『アイスプラネット』 『クマゼミ増加の原因を探る』 図・表・グラフの活用		
	7	『枕草子』 類義語・対義語・多義語 百人一首 オールマイティアクティブ		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の関係を正確に読み取り、登場人物の心情と行動を正確に読み取る。 ・文章全体と部分との関係や、文と図表の関係に注意して読む。また、自分が伝えたいことをわかりやすく提示するために、図・表・グラフを使って資料を作成する。 ・古文の文体に慣れ、滑らかに音読する。 ・現代の随筆の読解方法を古典作品に応用させ、筆者の観点や表現の工夫とともに、主張を読み取る。 ・類義語、対義語を使いこなす。
二学期	9	『徒然草』 『盆土産』	・定期試験 ・小テスト ・提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・有名な作品の冒頭文を音読し、その時代の人々の考え方に触れて現代との共通点や相違点を考える。 ・基本的な古語の意味を身につける。 ・場面ごとの人物や情景の効果的な描写に着目し、登場人物の人物像や考え方の変化を読み取る。 ・文章の構成に着目し、内容を捉える。 ・自分の意見を支えるためのより適切な根拠のあり方について考える。
	10	『モアイは語る』 根拠の吟味 百人一首 オールマイティアクティブ		
	11			
	12	『漢詩の風景』 『君は「最後の晚餐」を知っているか、「最後の晚餐」の新しさ』 異なる立場から考える 付属語① 百人一首 オールマイティアクティブ		<ul style="list-style-type: none"> ・返り点を理解し、漢文を書き下すことが出来る。 ・漢詩の形式を理解し、対句などの特徴的な表現や返り点に注意しつつ、作者の状況を理解したうえで詩を吟味する。 ・立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べる。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。 ・助動詞の種類や意味について理解する。
三学期	1	百人一首（百人一首大会） 漢文（漢文名文選より）	・定期試験 ・小テスト ・提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・百人一首大会に向けて決まり字や競技方法について理解する。 ・助詞を付けない表現や、七五調、対句、擬音語など、
	2	『平家物語』		

	<p>3 『走れメロス』 付属語② オールマイティアクティブ</p>	<p>表現の特徴に注意し、古典の世界を楽しみながら朗読する。また、和漢混淆の文体も意識して読み進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を味わう中で根底にある考え方を感じ取り、理解する。 ・場面の状況を踏まえて登場人物の言動の意味を考え、人柄や心情を読み取る。 ・助詞の種類や意味について理解する。
--	--	--

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。